



19 喬建建第 6 号
平成19年 5月 8 日

国土交通省道路局長 殿

喬木村長 大平 利次



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け 国道企第114号で依頼のありました中期計画作成に
関する意見を提出致します。

中期的計画にあたっての意見

- 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

中山間地を多く抱える飯田下伊那地域の道路は、複雑な地形と脆弱な地質条件から全国、また長野県内を比較して道路整備の改良率は大変遅れている。豊かで快適な生活環境の創設や安全・安心の地域づくりを推進する上からも、道路特定財源の趣旨を踏まえ計画的な整備が一層重要となっている。

幹線道路、生活道路を連携した用途にあった改良計画が必要である。特に、高規格幹線道路(三遠南信自動車道)飯喬道路は、産業経済及び文化の振興、流通条件の向上、交流人口の増加など地域の活性化を図る上で早期の完成を強く要請する。

- 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

現状の道路を活用した整備計画と、道路新設及び道路改良において、構造令にとらわれず地域にあった整備が必要である。

地域住民の協力体制の構築及び、優先順位を明確にして早期の完成を図る。

- その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関する意見

維持管理を徹底的に行い、早期補修により延命化を図り既存する施設は有効に活用することが必要である。

都市部と地方の格差が無い道路行政を願う。